

明神小だより

銚子市立明神小学校学校便り
VOL.8令和7年9月22日

令和7年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子供の育成」
『楽しく、面白く、やってみたいをやってみよう！』

親師会バザー

9月13日（土）、親師会バザーが盛大に開催されました。親師会役員をはじめ、保護者の皆様、OBの方々には、入念な事前準備から当日の早朝運営まで、温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

開催前から、子供たちは心待ちにしていました。「楽しみで眠れませんでした」「朝早く起きてしました」といった声が多く聞かれ、会場に入る瞬間の明るい表情からは、期待感がしっかりと感じられました。友達や家族と食事を共にし、欲しい物を選び、ゲームを楽しむ子供たちの姿は、活気ある学校生活の貴重な一場面でした。

最も心を打たれたのは、運営に携わる大人の皆さんのが献身的な姿勢です。汗ばむ陽気の中での力仕事も、子供たちへの深い愛情に支えられ、終始和やかな笑顔で取り組まれていました。子供たちにとって、このような大人の真摯な姿を間近で見ることは、どんな教科書よりも価値ある学習体験だったに違いありません。

また、バザー準備として、4・5・6年生が積極的に準備活動に参加しました。体育館の整備やシート敷設など、「私たちの行事は私たちの手で」という意識のもと、主体的に取り組む姿が頼もしく映りました。終了後の片付けを終えた一人の男子が、「がんばった分だけ、このかき氷の味が格別です！」と嬉しそうに語っていたのが印象深く残っています。

明神小の親師会バザーは、単なるイベントを超えた教育の場です。学校・家庭・地域の三者が心を一つにし、子供たちの成長を願う温かい絆で結ばれた、本校独自の宝物のような行事だと確信しています。遊びの中にも協働の喜びや他者への思いやりなど、人として大切な価値を学ぶ機会に満ちた、実り多き一日となりました。

ご多用の中、バザーの成功にご尽力いただきました全ての皆様に、改めて深く御礼申し上げます。今後とも「自律できる子供」「夢中になれる子供」の育成に向けて邁進してまいりますので、変わらぬご支援をお願いいたします。

第2回 明神カップを実施しました

9月12日（木）に、「第2回明神カップ」を実施いたしました。この「明神カップ」は、基礎学力の確実な定着と児童の学習への取り組み意欲を高めることを目的として、年間4回実施している取り組みです。今回は、1年生がカタカナ、2年生が漢字、3年生が地図記号、4年生から6年生が都道府県名を学習内容として取り組みました。

基礎学力の定着は、すべての学習の土台となる重要な要素です。1年生で学習するカタカナは正確な表記の基礎となり、2年生の漢字学習は豊かな表現力の源となります。3年生の地図記号は社会科学習における空間認識能力を育み、4年生から6年生が取り組む都道府県名の習得は、我が国の地理的理を深め、社会への関心を広げる重要な学習内容です。

これらの基礎的な知識は、暗記に留まらず、児童が将来にわたって学習を進める上での確かな基盤となります。また、継続的な学習習慣を身に付けることで、自主的に学ぶ姿勢や粘り強く取り組む力も育されます。

児童は日々の小さな積み重ねを通じて、確実に大きな成長を遂げています。今後も、児童の一歩一歩の成長を大切にし、それを喜びとしながら教育活動を展開してまいります。